

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、掲載の各事業やイベント等については、主催者の判断により変更または中止、延期される場合があります。開催の有無等につきましては、各申し込み先にお問い合わせをいただきますようお願いいたします。

うちのイチ押し!

大阪市

こどもカーニバル 2021



市内の青少年団体などの協力を得て、全市の子どもたちが家族や友達と楽しく遊べるこども同士の交流の場として、わくわくドキドキの楽しい催しを行います!

- セレモニー広場…子どもたちによる鼓笛隊やプラスバンド等の演奏などが行われます
- わんぱくひろば…スタンプラリー、ゲーム、ストラップ工作など
- 模擬店コーナー…フランクフルト、フライドポテト、ジュースなど
- 遊び体験コーナー ● ミニSLコーナー ● ミニオリンピック ほか

自由
入場

日時 **4月25日(日) 10:00~15:00**

場所 大阪城公園 太陽の広場、野球場 (JR「大阪城公園」、Osaka Metro「大阪ビジネスパーク」)

対象 どなたでも 費用 入場無料 (コーナーにより一部有料)

※雨天中止 (小雨決行) のほか、感染症等の影響により中止または延期・実施内容を変更する場合があります。

お問い合わせ

大阪市総合コールセンター

(年中無休・8~21時)

電話: 4301-7285 FAX: 6373-3302

大阪市こどもカーニバルとは

市内の青少年団体などの協力を得て、子どもたちの健全な成長を願い、昭和54(1979)年から開催しています。子どもたちによる演奏や開会宣言、大型のこいのぼりの掲揚など、子どもたちが主役となって活躍し、工作、ゲームなど子どもたちが家族や友達と楽しく参加できる多彩な催しで、一日中笑顔と歓声があふれるカーニバルです。

こどもカーニバル会場



主催: 大阪市 実施主体: 大阪市子ども会育成連合協議会



おおさか

歴史
探訪

155

大阪の史跡や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

うおじまどき ざこば 魚島季節の桜鯛と雑喉場魚市場—近世大坂町人の春のたのしみ—

春といえば桜ですが、近世の大坂の人々がもうひとつ春のたのしみとしていたものに旬の真鯛があげられます。

真鯛は春になると外洋から紀伊水道を通り、瀬戸内海へと産卵のため北上してきます。5月はじめの八十八夜の前夜1ヵ月ほどがこの時期にあたり、「魚島季節」と呼ばれていました。この産卵の頃が旬の真鯛は、桜の季節とも重なることから「桜鯛」と呼ばれ、春の名物としてたのしまれていました。船場の商家では日頃お世話になった方への春の贈答品としても用いられていたようです。大坂城下町跡の発掘調査ではしばしば、近世の人々が食べた魚の骨や貝、野菜など植物の種子が出土し、当時の人々の食生活の一端をうかがうことができます。魚の骨のなかでも真鯛の骨は特に出土量が多いことが知られており、大坂の人々が好んで真鯛を食していたことがわかります。

大坂の人々のこうした食文化を支えていたのが現在の西区京町堀・江戸堀付近にあった雑喉場魚市場です。この付近はかつて鷺島と呼ばれており、対岸の野田村(現在の福島区付近)の漁人が雑魚を商っていたそうです。魚市場のはじまりは豊臣秀吉の大坂城築城後に始まるといわれており、近世初期には堺筋のあたりで市を立てていたものの、船の便が悪いことや、夏場の魚の貯蔵に適さなかったことから、徐々に鷺島付近に出店するようになったのが定着して、堂島米市場・天満青物市場と並ぶ大坂三大市場のひとつになりました。雑喉場魚市場は近代以降も大阪の人々の食を支えてきましたが、昭和6(1931)年の大阪市中央卸売市場(福島区野田)の開設により役目を終えました。



雑喉場魚市場跡の石碑と説明板(西区江之子島1丁目)